



＝令和6年度竜王小学校だより＝

# 竜の子

令和6年5月29日

No. 2

校長 松井 渉

## 楽しいを感じられる学校づくりをめざして

新年度になり、子どもたちとの出会いから2か月が過ぎようとしています。子どもたちの朝のあいさつ「おはようございます」から、私は、「今日も一日、頑張るぞ」と、“やる気”をもらいます。午後は、校長室にいと、「さようなら」と、時折、あいさつをしてくれます。校長室の前を通り過ぎる一瞬ですが、「さようなら」のあいさつから、1日の疲れが吹き飛ばすような“元気”をもらいます。そして、そのあいさつに笑顔で返すと、もう一度子どもの笑顔が返ってきます。子どもたちに会うたびに、幸せな気持ちになります。「あいさつは心をつなぐまほうの言葉」という標語が書かれたのぼり旗が校内にあります、その意味を毎日実感しているところです。

過日、生活科見学シートに「お花を見つけたのが楽しかった。」と書かれているのを見つけました。ある男の子は「算数が好きだから楽しい。」と、にこにこしながら私に伝えてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。322名全員が、学校が楽しいと言って登校できる学校でありたいと思っています。

保護者の皆様には、授業参観、PTA 総会、児童引き取り訓練等、日頃から本校の教育活動にご協力いただき、感謝申し上げます。今後ご理解とご協力をお願いします。

### 全校の友情で創ろう！輝くにじいろ！ ～第1回児童総会～

5月20日、令和6年度の児童総会が開かれました。本部の提案に対して、各クラスから多くの意見が発表され、各クラスでよく話し合い、児童会の活動に積極的に関わっていかうとする意欲が伝わってきました。児童会本部役員は、事前の準備、提案、議事進行など、大忙しでしたが、一人一人が自分の役割をよく理解し、児童会活動を盛り上げようとする姿に感心しました。

児童会テーマは、「全校の友情で創ろう！！輝くにじいろ！～学年をこえたあいさつ！笑顔！助け合いへ～」です。他学年と交流する中で、全校がなかよくなって、協力、助け合う関係になり、「あいさつ」「笑顔」「助け合い」の輪を広げてほしいという理由から、この児童会テーマに決まりました。

#### 主な活動の柱

- 1 あいさつの色  
あいさつリーダー  
あいさつリレー  
たてわりあいさつリレー
- 2 思いやりの色  
お礼の手紙  
竜の子ハッピーピース  
アフリカ救援米  
キャップ集め



活発な討議がなされた児童総会でした。

- 3 ルール・マナーの色  
竜の子おしらせ放送局
- 4 笑顔の色  
たてわりゴミひろい  
歌声集会
- 5 助け合いの色  
ドラゴンGP 協力 Ver  
たてわり遊び



委員会活動についても  
話し合われました。

児童総会で子どもたちの話し合いの内容を聞いていて、ふと、過日、目にした本の中で、「幸せになるために大切なことは2つある。それは『笑顔』でいること、『ありがとう』をたくさん言うこと、言われること」と書いてあったことを思い出しました。また、「ありがとう」に関するこんな内容を目にしました。

### あなたは「ありがとう」の反対語を知っていますか！？

ありがとうの反対語など今まで考えたこともなかった。

教えてもらった答えは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「あたりまえ」  
「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」「有難（ありがた）し」という意味だ。

あることがむずかしい、まれである。めったにない事にめぐりあう。

すなわち、奇跡ということだ。

奇跡の反対は、「当然」とか「当たり前」。

我々は、毎日起こる出来事を、当たり前だと思って過ごしている。

歩けるのが、あたりまえ。目が見え、耳が聞こえるのが、あたりまえ。

手足が動くのが、あたりまえ。毎朝目覚めるのが、あたりまえ。

食事ができるのが、あたりまえ。息ができるのが、あたりまえ。

友達といつも会えるのが、あたりまえ。太陽が毎朝昇るのが、あたりまえ。

うまれてきたのが、あたりまえ。家族が毎日帰ってくるのが、あたりまえ。

そして...

生きているのが、あたりまえ。

また、ある夫婦の話もしてくれた。

晩酌の時、いつも無口の夫が、「ちょっと、お酌してくれないか？」と珍しく妻に言った。

台所の片付けをしていた妻は、「今、忙しいから自分でやって」と答えた。

夫は少し寂しそうだったが、手酌で酒をついだ。

その、2～3時間後、夫は急に倒れ、救急車で病院に運ばれ、帰らぬ人となってしまった。

それから妻は、何故あの時、夫にお酌をしてあげなかったのかと、ずっと悔やんだという。

あの時何故、もっと、優しい言葉で、こぼれるような笑顔で、感謝の言葉で、

接することができなかったのか...

誰しも、今日と同じ日が明日も繰り返されると思う。

今日、誰かと出逢い、話し、笑い、食事をして、仕事ができる。

こんな当たり前だと思うことが、本当は奇跡の連続なのだ。

「有ること難し」

生きて、出逢う、という奇跡の連続に、「ありがとう」を言わずにいられない。

私自身、竜王小学校322名の児童、保護者の皆様、地域の方々、本校職員との出逢いに、「ありがとうございます」と感謝の気持ちでいっぱいです。